

【 執 筆 規 定 】

※発表を希望される方は、事前登録が必要となります。

「第 32 回活動分析研究大会 演題発表の事前登録について」をご参照ください。

◇ 論文の内容について

中枢神経系疾患の臨床で得られた新たな知見（治療のアイデア、Activity・ADL の分析など）について、オリジナリティに富んだ内容の論文を歓迎いたします。

◇ テーマ

a)第 32 回活動分析研究大会のテーマは、「臨床・上肢機能アプローチ」です。

b)演題テーマは、Activity/ADL/上肢機能/高次脳機能障害/応用歩行/IADL/コミュニケーション/環境適応 になります。

◇ 執筆要領

<用紙>

原稿はすべて横書きとし、A4 判を縦方向で使用してください。

<表題等>

原稿の冒頭に次の事項を明記してください。

a)表題：内容を過不足なく的確に表現する表題をつけてください。

副題には前後に波線（～）を付けてください。

b)執筆者氏名：所属・職種・氏名を明記してください。執筆者数に制限はありません。

大会誌プログラムへの掲載は筆頭演者のみになります。

c)キーワード：論文の内容を最も端的に表すキーワードを 3 語付記して下さい。なお、当研究会はキーワード集を設けておりません。キーワードは、可能な限りリハビリテーション専門職が一般的に用いる語とします（理学療法士協会の学術キーワード集や作業療法士協会のキーワード集などを参考にして下さい）。

<本文>

a) ページ設定：一般演題、実技演題ともに A4 判で 3 ページ以内です。

b) 余白：上・左・右 2cm 以上、下 3cm 以上（厳守）とってください。

c) 文字サイズ：10.5 ポイント前後です。

d) 文字数×行数：40 字前後×40 行前後です。

e) 画像：枚数・サイズの規定はありません。余白部分にはみ出さないようにしてください。

個人が特定できないように目隠し等の処理をしてください。

◇個人情報・肖像権への配慮

a) 執筆者は、対象者に説明の上、必ず同意を得てください。

b) 症例紹介の内容等は個人情報に配慮した記載とってください。

◇要旨（Abstract）

要旨は日本語 400 字以内とし、図表や写真は使用できません。原稿とは別にファイルを作成してください。

※大会誌の事前配送は行っておりません。大会誌の校了後、プログラムと演題要旨をホームページに掲載します。ご理解とご協力をお願い致します。

◇原稿の締め切り

a) 令和2年2月25日(火)正午までです。

※締め切りに間に合わなかった原稿は、製本・印刷の都合により大会誌に掲載できません。

b) 原稿の採否：規定の要件を満たさない原稿は大会誌に掲載できません。また、編集委員会での審議にて発表をお断りする場合がございます。ご了承ください。

◇原稿および要旨の送付について

a) メールにて活動分析研究会編集部(katsubunhenshu@ybb.ne.jp)へお送りください。郵送での受付は行いません。

活動分析研究会のホームページからも投稿できます。役員名簿の編集部をクリックしてください。

b) メールの件名には「第32回活動分析研究大会原稿 発表者氏名」と記載してください。

c) 1つのメールにつき1演題の添付としてください。

d) **原稿および要旨は元のファイルとPDFに変換したファイルの計4ファイル**を送付してください。原稿は筆頭演者の氏名をファイル名とし、要旨は筆頭演者氏名の後に「(要旨)」を付けたファイル名にしてください。(例：活分太郎.docx 活分太郎.pdf 活分太郎(要旨).docx 活分太郎(要旨).pdf)

e) 使用しているブラウザやメールソフトに関係なく、1つのメールに添付できるファイルの容量は最大20MBまでとなっています。

※締め切り当日はメールが殺到する可能性がありますので、数日前に送付されることをお勧めします。

※原稿の受理後に、受理報告のメールを返信します。5日以内に返信を予定していますが、受理数により遅れる場合がございますのでご了承ください。なお、返信がない場合は必ず編集部までお問い合わせください(原稿が受理されていない可能性があります)。

以上、不明な点がございましたら下記までお問い合わせください。

<活動分析研究会編集部>

〒406-0004 山梨県笛吹市春日居町小松 855

山梨リハビリテーション病院 作業療法課 佐尾健太郎

TEL/FAX(直通) : 0553-26-3785

E-mail : katsubunhenshu@ybb.ne.jp